

令和6年9月24日
教育長 答弁実録
(教育委員会)

(問) 特色ある県立高等学校の在り方について

卒業後も生徒が地域に愛着を持ち続けるためにも、地域と連携した特色ある学校づくりの実現が必要だと考えるが、現在、策定に取り組んでいる実施計画にどのように反映していくのか、所見を伺う。

(答)

教育委員会におきましては、今後、社会が求めるニーズに応じた多様な人材の育成に向け、全県的な視野に立って、県立高等学校のより一層の特色づくりや教育の質的向上などを進めることとしております。

このため、本年3月に策定いたしました「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画（第2期）」に基づき、課程・学科等の具体的な在り方を検討することとしております。

今後の高等学校教育におきましては、デジタル技術の進展・高度化等の社会の急速な変化や、人口減少の進展等を見据え、地域や企業・大学といった多様な主体との連携を図りながら、実社会をフィールドとした主体的・対話的で深い学びを実践する教育活動を展開していくことが重要であると考えております。

とりわけ、学校が立地する地域と密接に連携し、地域の自然や産業といった地域資源を活用した学びに取り組んでいくことが必要であり、こうした活動は、地域への愛着や誇りを育み、将来的に社会や地域に貢献できる人材を育成することにつながっていくものと考えております。

教育委員会といたしましては、基本計画に基づき、今後策定する実施計画におきまして、こうした視点を踏まえ、県議会の皆様の御意見をお伺いするとともに、地元自治体を始めとした関係者との議論、県内の各地域で活動されている産業界や教育界の専門家などの有識者からの意見聴取等も行いながら、特色ある学科等の設置を含め、魅力ある県立高等学校づくりを進めてまいります。